

謹賀新年



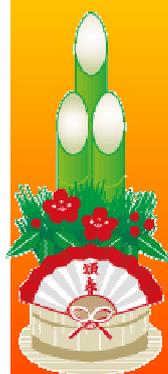
平成24年が明けました。昨年、平成23年は、東北地方と関東地方の太平洋沿岸部に壊滅的な被害をもたらした、3.11の東日本大震災が発生しましたが、「絆」をテーマに日本中が一体となった年でした。

平成23年度事業も残り3ヶ月となりましたが、安全作業で今年度の目標を達成しましょう。

また、森林・林業再生のため、国有林として豊かな森林づくりを推進するため努力する所存ですので、変わらぬ御支援・御協力を御願い致します。

森林・林業の再生への貢献のため

自治体や住民との意見交換が重要!!



署長

上平 清治



さて、昨年は、日本では東日本大震災、福島原発事故や紀伊半島を中心とした豪雨災害、海外でもタイ国の大洪水など大規模な災害が発生し、未だ復旧・復興の途上にあります。また、欧州におけるEU各国の財政危機問題、「アラブの春」と云われるアラブ諸国の民主化運動など、国内外を問わず多方面にわたって大きな変化に晒され激動の一年間であったと思います。

りました。これらことから、二度とこのようなことが発生しないよう、改めて職責を自覚し、国有林を適切に管理していくことを、職員の皆様と再確認したいと思います。

さらに、森林・林業再生プランにおいては、森林を適切に保護・保全するために、林業・林産業の再構築も図りつつ、豊かな森林づくりを推進する方向が示されています。

また、昨年は国際森林年であり、国内においては、森林・林業再生プランのスタート年として、森林・林業にとつては記念すべき節目の年でしたが、我が国有林の職場においては、世間の厳しい批判を受ける事案が発生し、深く反省しなければならぬ年でもあ

その中で、私達には、国有林野の管理経営のみならず、我が国全体の森林・林業再生への貢献が求められ、民有林との連携、民有林の経営に対する支援等への取り組みが求められており、今後、私達は地域の民有林も含めた森林管理を考え、民有林の担当部局と連携を図りながら、森林造りを推進していかなければなりません。

そのためには、地域情報の収集が一層重要性を増すことは明らかであり、地元自治体や住民との意見交換や交流に積極的に関わり、地域のニーズの把握に努めていかなければなりません。

業務に当たっては、国民全体の奉仕者である公務員として、「国民の目線」で物事を捉え、公明公正で真摯な姿勢で職務に臨むことを、決して忘れては成りません。

この一年、地域に目を向け・耳を傾け、職場全体で情報を共有し、お互い連携協力して課題に取り組む、前進しましょう。

職員及びにご家族皆様のご健康と、職場の安全をご祈念申し上げます。

新年明けまして
おめでとーございませす

職員の皆様におかれましては、ご家族お揃いで、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

安全運転のために知っておきたい・パート③



次長 永野 正人

いこなそう 目力（めぢから）・心カ（こころぢから）』について紹介したいと思います。

車がドライバーによって動かされている以上、交通状況に対するドライバーの目の向けようや心のありようが、安全に運転できるかどうかを左右します。

どのような交通状況において、どのように目力と心カを使いこなせばよいのか、そのノウハウを説明します。

新年明けましておめでとございませす。職員の皆様にはご家族おそろいで、輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、冬期間においては、寒冷な気候、積雪等により作業条件が一段と厳しくなると同時に、道路状況も日々変化することから、滑り・転倒等による災害や路面凍結によるスリップ事故等が危惧されるところで、このような状況から、今回は『使

頭事故』に警戒するため、「右・左・右」の順序で見る癖をつけ、「車が近づいて来ているかもしれない」と考える。

④住宅地などの優先側の道路を走行する場合は、『自転車との事故』に警戒するため、自転車が出てきそうな路地に目をつけ、自転車側のルール遵守に期待しない。

⑤近くに交差点がない道路の横断歩道に接近する場合は、『高齢歩行者との事故』に警戒するため、周りの歩道上に高齢歩行者がいなか探し、横断歩道上に歩行者がいなくても油断しない。

⑥郊外の直線道路やカーブを走行する場合は、『正面衝突事故と車両単独事故』に警戒するため、先方だけを見ないで目線を意識して動かし、時々速度を変えて快適気分

に活を入れる。⑦夕暮れどきに生活道路を走行する場合は、『横断中の高齢歩行者との事故』に警戒するため、薄暗い部分に潜む危険に特に目

を配り、目力低下を「早め点灯」でカバーする。⑧夜間に住宅街を走行する場合は、『右からくる歩行者との事故』に警戒するため、ライトがあたらない右の暗がりを意識して見て、「見えなくても危険は存在する」

と考えるなど、交通場面の中の異常や危険を確実に見たり見つけたりできる『目力』を理解し、見えない危険を推しはかたり、自分勝手な思い込みを抑制できる『心カ』を認識することが重要となっています。

今後、日々変化する交通状況の中で、『目力』と『心カ』のノウハウをよく理解・認識し、今年一年、日

高南部署が災害や事故のない明るい職場として、職員一人ひとりが同じ気持ち・認識を持って、無災害を達成するとともに、職員はもとより家族の皆様にとつて、心身ともに健康で良い年となるよう願っています。

安全運転講話

12月12日(月)、
 静内警察署の後藤交通課長を講師として、「交通安全講話」を開催しました。



今年も、現在のところ北海道内の交通事故死者数は全国6位で、昨年に比べかなり減つてはいるが、静内警察署管内では、10月から11月にかけて事故が急増し、死者が1名出るなど、昨年同様がワーストワンだっただけに、より一層安全運転に徹して頂きたいとの注意喚起がありました。

また、管内の事故形態で多いのは、①追突、②出合い頭、③人と車両の順で、特に右折待ちの追突が多く、年齢別では、①65歳以上、②30歳代、③25歳以下の順で、特に高齢者の当事者は「前は見ていた」と言いつつも、その感覚が「運転」ではなく、「乗車」に近いとのことでした。

事故は、自ら起こさないことが基本ですが、やはり防衛運転も大事であると改めて教えられた事例でした。

今回は、駐車禁止場所や中型免許の範囲など、道路交通法の基本や改正点も交えた質問形式で進められ、当たらない人がいないほど大変緊張感のある熱い講話でした。

【総務課長】

安全祈願祭



12月12日(月)、日高南部森林管理署「平成23年度、山神祭・安全祈願祭」を静内神社において行いました。

当日、天気は良かったものの、気温が低く寒さを我慢しながらの進行となりました。

販売係長の司会で始まり、まず神主さんから祝辞を頂き、出席者が一人ずつ名前を呼ばれ、玉串奉奠を全員で行って、署長訓示後に、境内に移動し、今後の安全を祈願して、車両等のお



被いをしていただきました。今年も職員のみなさんの各種取り組みにより、公務災害や車両事故もなく無事に過ごすことができましたが、来年も引き続き無事故・無災害を継続できるように、気を引締めて安全の確保に取り組みで行きたいと思います。

【業務第二課長】

◀ 職場内研修 「森林作業道等研修」 ▶



10月5日（水）、職場内研修「森林作業道研修」を「御園東森林事務所」部内において行いました。

この研修は、森林作業道の作設に関する知識及び技術等を習得することを目的として、北海道森林管理局及び道央森林整備事業協議会と日高北部森林管理署、日高南部森林管理署から職員が出席しました。



講師の販売第二課、企画官（間伐推進）から森林作業道について、急傾斜地での作設ルートのご選択や、丈夫な路体を作るためには、盛土部分を30cm程度の層毎に締め固めを行う等の説明がされ、参加者から熱心な質問もでて、大変有意義な研修となりました。今回の研修で習得したことを、今後の森林施業に生かしてほしいと思います。

【業務第二課長】

えりも岬の緑を守る会 イキイキ森林づくり事業

11月4日（金）、えりも岬の緑

を守る会の主催で「えりも岬イキイキ森林づくり事業（育樹祭）」が、えりも国有林において開催されました。えりも岬の緑を守る会との協定により、国有林と地域住民が協力して育樹活動を行う、この事業も今年で7年目を迎えます。当日は抜けるような青空の下、地元自治会員、漁業者、漁協関係者等、総勢約100名の参加者が集まり、クロマツの枝落とし作業に汗を流しました。



開会式では、岩本えりも町長、北海道森林管理局の牧野治山課長補佐、日高振興局長からの挨拶の後、志田えりも治山事業所主任の作業説明があり、枝落とし作業を行いました。28年前に植樹し、岬特有の強風に耐えながらも、7mほどに成長したクロマツの林内は、人が入るのも大変なほど、枝が混み合っていました。約一時間半の作業後には、太陽の光が差し込み、作業を行った約0.5ヘクタールのクロマツ林の林内の光環境等は大きく改善されました。作業を終えた参加者からは、「スッキリした」、「今後も育樹活動に参加したい」等の声も聞かれ、また、主催者からナメコ汁が振る舞われ、秋の味覚も楽しみました。

【流域管理調整官】



トンボが並んで日向ぼっこ

現場だより

西舎森林事務所首席森林官

坂尻 勇次

月日が経つのは早いもので、平成22年4月に着任してから、早くも1年9ヶ月が過ぎてしまいました。後2年3ヶ月で定年を迎えることを考えると、一抹の寂しさを感じるところです。

現在、所員と共に狩猟巡視、国有林野継続貸付実査、地林況調査、境界巡検、西舎地区保全整備(保育間伐等)第五号契約の請負監督などの業務に取り組んでおります。

↓農協の牧場からカムイ岳を望む



↓オオワシどこかな？



↑境界巡視の様子

特に、エゾシカ残滓^{ざんし}については、昨年西舎部内において狩猟巡視中に確認し、本署を通じ浦河猟友会に残滓^{ざんし}処理をお願いしました。残滓^{ざんし}は、ヒグマを呼び寄せ、国有林内で作業を行う職員等の安全が脅かされますので、狩猟者はマナーを守って狩猟を行ってもらいたいものです。

これからますます寒さが厳しくなる季節ですが、所員の束理^{かんり}さんと切磋琢磨しながら、今後も安全作業と健康管理に留意し、業務を進めていきたいと思っております。

辰年生まれの 今年の抱負



上平 清治

私が誕生した1952年は、戦後の日本が主権を回復した年。そして、年男1回目64年は、東京五輪の開催。2回目76年は日本初の五つ子誕生。3回目88年は青函トンネル開通。4回目2000年は、シドニー五輪で高橋尚子が優勝した年と、皆さんの記憶にも残る良い出来事があった辰年でした。

マ75回目の今年は、暗いニュースの多かった昨年を振り切れる明るい話題を期待していますが、先ずは、この重苦しい閉塞感から抜け出すことと、大震災からの着実な復興を願っています。

私の今年は、ゆっくり、ゆったり、ゆたかなスローライフを目指し、健康を維持し、太平洋を望みながらシベチャリ川散歩を持続することが念願です。



藤嶋 辰昇

あけまして

おめでとうございます。

4回目の年男という事で、この節目で思っていることを書いてみました。

仕事をする上で最も大事と言われております「心身ともに良好な健康状態」についてですが、2回目の年男でピークを迎えた私の体は、多少の衰えは感じたものの、3回目の年男を無難に乗り越えたことから、運動することもせず、大好きなアルコールを毎日浴びる日々を送っております。ところが、41才の厄年頃から一変、健康診断を受けるたびに増える要検査の数、歯はボロボロになり、髪もどんどん薄くなっていき、心も折れる寸前に…。急加速で衰えていく心身は、自分が描いていたダンディ期(毎日がハッピーなロマングレーのジェントルマン)を迎えることができず、残念な状態になりつつあります。本来であれば、次の年男で退職のはずが5年伸びそうであり、果たして、生きて退職できるが、本当に不安になっております。私が今、この節目の年男に思うこと、それは、急加速で衰えていく、この心身の状況を退職までコントロールし、せめて、唯一の楽しみとなつて『晩酌』が、毎日続けられることを真に願っております【ちっちゃなかな〜】。



土田 良己

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

気づけば4回目の年男です。

思い返せば、2回目の年男は諄内営林署(御園西担当区事務所)で、3回目の年男は厚賀森林管理センター(造林係)と浦河事務所(経営係)で、いずれも当署管内にて迎えております。

昨年を振り返りますと、16年振りの森林官として2年目の年でしたが、年々体力と集中力が減退していくことに抵抗し続けながらも、1年目と同じような不手際を繰り返してしまい、反省の日々でした。私事では、生涯独身を貫くつもりはありませんが、武者小路実篤の名言「結婚は早すぎてもいけない、遅すぎてもいけない」

ざつてもいけない、無理が一番いけない、自然がいい。」を引き続き、心の支えとしていきたいと思えます。最後に、今年の実現したい目標を8つ挙げます。

- ① 今秋、金婚式を迎える両親を囲んで、弟一家とともに、祝賀会を企画開催します。
- ② 9月に4回目の車検を迎える自家用車が、地球にも財布にも体にも優しくないエゴカーなので、買い換えを検討します。
- ③ 転勤のたびに増え続ける荷物を整理し、不要な物品を処分します。



東理 泰範

明けまして

おめでとーございます。

今回で2回目の年男でございます。このまま順調にいけば、この職場で5回年男を迎える事になります。

3回と思えば少なく感じますが、3年と思つと、今までの自分の人生の倍以上の時間になります。先はまだまだ長いですね。今年で故郷である釧路から、日高南部森林管理署に来て、3年目になります。

厚賀で1年、浦河で1年と、落ち着く間もなく事務所を移り変わってはいませんが、すでに2年もの月日を過ごしたことに驚くと同時に、この2年間を無駄に過ごしてはいなかったかと、最近では自問自答する日々です。

まだまだ覚えることは多くとも、そろそろ何か出来るようになってもいい頃、この3年目が自分の中での正念場になりそうです。

何はともあれ、今年は車の借金返済と、自身のさらなる発展を目指して、頑張っていきたいと思えます。

今後とも、ご指導・ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い致します。

十一月～十二月の行事結果

【十一月】

- 1日～2日 局長管内巡閲
- 4日 えりも岬の緑を守る会・イキイキ森林づくり事業
(育樹祭)
- 7日 「レクリエーションの森」リフレッシュ対策に係る一般競争入札
産業医現場巡視(浦河地区)
VD T点検(浦河地区)
- 8日 安全点検(浦河地区)
- 9日 安全運転管理者等法定講習会
札幌地区森林管理署長等会議
- 10日 狩猟巡視(浦河地区)
新ひだか町鳥獣被害防止対策協議会「幹事会」
- 10日～11日 管理事務担当者打合せ会議(局)
- 14日 VDT点検(えりも地区)
日高地方「森林・林業・林産業活性化を促進するための連絡会議」役員会
- 15日 安全点検(静内地区)
狩猟巡視(新冠地区)
- 15日～18日 業務研修「森林の管理・経営」
- 16日 安全点検(東川地区)
オビウ支線林道外新設測量・設計業務一般競争入札
- 17日～18日 森林管理署長等会議
砂防治山連絡調整会議
- 21日 東川地区收穫調査外部委託一般競争入札
- 22日 海岸防炎林造成事業(その2)一般競争入札
素材委託販売(局)
- 24日 第2回えりも町森林整備計画作成全体会議
広報委員会
安全衛生委員会
- 25日

【十二月】

- 28日 レク森等掲示板組立及び設置業務一般競争入札
- 29日 浦河町森林整備計画第2回作業チーム全体会議
- 1日～31日ゼロ災害月間準備期間
- 1日 冬山作業「安全の呼びかけ」(全地区)
- 2日 若園・西舎・三石地区保全整備(保育間伐等)
第5号一般競争入札
- 5日 新ひだか町営林友の会役員会
安全点検(静内地区)
- 6日 安全点検(東川地区)
札幌地区造林事業担当者打合せ会議(局)
狩猟巡視(浦河地区)
定期特殊健康診断
- 6日～8日 業務研修「森林官Ⅲ(国有林野管理・保安林制度等)」(局研修所)
- 7日 狩猟巡視(新冠地区)
札幌地区国有林野等所在市町村長有志協議会(局)
- 8日 請負事業体等現場巡視
- 8日～9日 流域管理調整官等会議
- 9日 VDT点検(えりも地区)
- 12日 交通安全講話
山神祭・安全祈願祭
- 13日 安全点検(浦河地区)
- 14日 発注者網紀保持の取組に係る
巡回指導(計画部長外)
- 15日 狩猟巡視(静内地区)
素材委託販売(局)
- 19日 産業医現場巡視(静内地区)
- 20日 森林官等会議
安全衛生委員会
- 21日 請負事業体等現場巡視
仕事納め
- 28日

溪流

- ★新年を迎え「気持ちも新たに」労働災害の未然防止に御協力をお願いします!
- ★インフルエンザの感染防止のため、うがい・手洗いをする習慣を身につけましょう!!
- ★いよいよ厳寒期になります。スピードを控えて安全運転と防衛運転を心掛けましょう!!!
- ★広報誌「べてかり」の内容充実のため、投稿等に御協力をお願いします!!!!

【事務局】